

事業番号	15 01 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	教育総務事業費	部局	教育委員会	課・室	教育政策課		
		実施期間	不明	～	E-mail	kyoiku@pref.nagano.lg.jp	
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係							
政策の柱							

1 現状と課題

- ・教職員が児童生徒に対する教育の責任を果たし、保護者や地域社会からの信頼を得られるようにする必要がある。
- ・平成25年度から教職員の信頼回復、性暴力の根絶に向け取り組んでいるが、教職員による非違行為は引き続き発生している。
- ・令和4年度に「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が施行され、教職員による児童生徒への性暴力の根絶に向け、一層の取組が求められている。

2 事業目的

- ・教育基本法の趣旨にのっとり、本県の教育の振興を図り教育行政が適切に運営されるよう、教育委員会を公正かつ適正に運営する。
- ・教員採用の透明化や教員の資質・指導力の向上を図ることにより、保護者や地域社会の信頼を得られる教育環境を確保する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①教職員の非違行為の根絶に向けた取組の推進
- ・非違行為が発生した場合、専門家とともにその原因を検証し、新たな対策を検討
 - ・「再発防止研修」を効果的に実施
 - ・【新】教職員による児童生徒への性暴力事案発生時に、専門家の協力を得て調査を実施
- ②指導力不足等教員判定委員会の開催
- ・精神科医、教育学の専門家等により、指導力不足と認定された教員の改善状況を判定
- ③合否決定委員会の開催
- ・外部の有識者（オブザーバー）の監督・立会のもと、教員採用及び校長・教頭の承認を決定

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①-1	児童・生徒に対するわいせつな行為による懲戒処分件数	件	0	0	→	0	→	0	/	児童生徒を相手方とする非違行為であり、教職員として起こしてはならないことから、その懲戒処分件数を指標とする。	
①-2	体罰による懲戒処分件数	件	1	0	↗	0	→	0	/	児童生徒を相手方とする非違行為であり、教職員として起こしてはならないことから、その懲戒処分件数を指標とする。	
①-3	飲酒運転による懲戒処分件数	件	1	0	↗	0	→	0	/	特に社会的な反響が大きく、根絶が求められている非違行為であることから、その懲戒処分件数を指標とする。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		5.8
	(要求)		8,417		8,417	8,417	
R4年度	0	8,115	0	8,115	8,115		5.8
R3年度	0	8,140	0	8,140	8,140	6,727	5.8

事業番号	15 01 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	教育総務事業費		部局	教育委員会	課・室	教育政策課

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	教育委員会費		7,371 千円	7,329 千円	(予算案) (要求) 7,468 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	教育委員会の運営	直接	教育委員会定例会の開催 開催回数：13回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	教育委員会事務局費		769 千円	786 千円	(予算案) (要求) 949 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	合否決定委員会の開催	直接	教員採用選考に係る委員会の開催 管理職昇任選考に係る委員会の開催 開催回数：各2回		
2	指導力不足等教員判定委員会の実施	直接	指導力不足等教員判定委員会の開催 開催回数：3回		
3	非違行為根絶に向けた取組の実施	直接	コンプライアンスアドバイザーによる非違行為防止対策等への助言 児童生徒性暴力発生時に専門家の協力を得た調査の実施 助言回数：全体会議1回、個別相談4回		